

JICA TOHOKU

独立行政法人国際協力機構

JICA × MIYAGI

— 信頼で宮城と世界をつなぐ —

JICA東北

Phone 022-223-5151(代表)

E-mail jicathic@jica.go.jp

official website <https://www.jica.go.jp>

Address 〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町4丁目6番1号
仙台第一生命タワービルディング20階



【民間連携事業】<インドネシア>リサイクルアスファルトを用いた道路舗装作業の様子(菅原工業・宮城県気仙沼市)
「アスファルト廃棄物を活用した循環型舗装技術に関する普及・実証・ビジネス事業」



JICA東北
ホームページ



Facebook



Instagram



2026.4.1

研修員受入事業

JICA東北では、東北地方の持つノウハウを活用し、開発途上国で必要とされている知識・技術を伝えて各国の課題解決に役立ててもらおうことを目指し、関連の政府機関・自治体・企業・大学等の協力を得て研修員受入事業を行っています。参加者は、概ね政府の行政官や技術者。他にもビジネスや学術界の中堅リーダーなどが参加しています。

◆研修員受入事業(短期)〈2026年度計画〉:東北センター所管分

ジェンダーと開発(14名)

「ジェンダーと多様性からの災害リスク削減と気候変動」ICネット

農業(10名)

「施設の運営・維持管理の向上を通じた農業生産基盤の整備」海外農業開発コンサルタンツ協会

保健(16名)

「母子保健」宮城県青年会館(宮城大学)

防災(13名)

「津波モデリング・浸水予測」東北大学:1名(フィリピン)
 「津波数値解析と地形データの統合」東北大学:2名(インドネシア)
 「上下水道地震対策」八千代エンジニアリング:10名(トルコ)

◆JICA留学生※(46名:主に工学、理学、環境科学、農学課程)

東北大学(34名)

仙台防災:11名

(イラン、インドネシア5、スリランカ2、フィリピン、バングラデシュ、ネパール)

SDGsグローバルリーダー:2名(カメルーン、ガーナ)

ABEイニシアティブ:1名(ケニア)

道路アセットマネジメント:1名(ガーナ)

科学技術イノベーション:4名(インドネシア、タイ2、エジプト)

Agri-Net:8名(ネパール5、スーダン、ジンバブエ、ルワンダ)

ユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC):2名(ブータン)

人材育成奨学計画(JDS):2名(ベトナム)

日系:1名(ブラジル)

円借款:2名(エジプト)

仙台高等専門学校(12名)

円借款:12名(タイ)

※受入期間が1年以上の研修員で、日本の大学院の修士/博士課程を通じ、母国の開発に寄与するための総合的かつ高度な技術や知識の習得を目指しています。

◆連携協力に関する覚書

東松島市

戦略的合意文書 締結日:2015年7月31日

株式会社七十七銀行

業務連携・協力に関する覚書 締結日:2017年2月1日

公立大学法人宮城大学

連携覚書 締結日:2021年12月20日

市民参加協力

JICAは市民をはじめ、民間企業、NGO、自治体などとの協力のもと、開発途上国で幅広い活動を行っています。国内においても、全国に拠点を置き、地域の特性を生かした、国際協力の事業を展開しています。

◆ ボランティア事業

◆ JICA海外協力隊

※2026年4月1日現在

派遣中隊員(18名)					
派遣国	職種	派遣国	職種	派遣国	職種
マラウイ	理学療法士	パラグアイ	コミュニティ開発	エクアドル	理学療法士
コロンビア	土壌肥料	ラオス	柔道	アルゼンチン	日本語教育
コスタリカ	日本語教育	バヌアツ	栄養士	ブラジル	青少年活動
ルワンダ	コミュニティ開発	カンボジア	理科教育	キルギス	マーケティング
ペルー	学芸員	グアテマラ	コミュニティ開発	モロッコ	幼児教育
ケニア	青少年活動	モンゴル	観光	インドネシア	日本語教育

※県内の各自治体に表敬訪問に行った隊員(未表敬者も含む)

派遣中含む累積隊員数：1,003名 ※宮城県出身の隊員

◆ 開発教育支援

◆ 開発教育(国際理解教育)支援事業2025年度実績

国際協力出前講座(実施:19件 受講者数:2,089名)

宮城教育大学 家庭科授業運営部会(25名)	宮城県宮城野高等学校 (44名)
宮城県仙台東高等学校(240名)	宮城県宮城第一高等学校(32名)
宮城県岩ヶ崎高等学校 (51名)	仙台市立中田小学校 (97名)
仙台育英学園高等学校(199名)	仙台二華高等学校(197名)
仙台白百合学園中学校(29名)	富谷市立東向陽台中学校(166名)
仙台市立西中田小学校(125名)	仙台市立北仙台小学校(194名)
青少年赤十字(JRC)宮城県支部石巻地区(43名)	大和町立大和中学校(437名)
大和町立吉岡小学校(133名)	大和町立落合小学校(4名)
大和町立吉田小学校(21名)	加美町立宮崎小学校(22名)
宮城県古川黎明高等学校(30名)	

訪問学習(実施:5件 受講者数:39名)

宮城大学 看護学群(6名)	東北大学法学部 日本政治外交史基礎演習(7名)
宮城県多賀城高等学校 語学研究部(6名)	第一学院高等学校 仙台キャンパス(13名)
八戸看護専門学校(7名)	

◆ 外国人材受入・多文化共生事業

宮城県国際化協会(宮城県)	
国際協力セミナー「震災から15年」2025年度	
国際協力セミナー「宮城と漁業と外国人材」2024年度	
東北の企業・団体(宮城県)	
(一社)宮城県インドネシア協会「多文化共生を意識した企業経営」2025年度	
「インドネシアセミナー」 2024年度	

◆民間連携事業

◆中小企業・SDGsビジネス支援事業[JICA Biz] (実施中)

株式会社 菅原工業(気仙沼市)

<インドネシア>アスファルト廃棄物を活用した循環型舗装技術に関する普及・実証・ビジネス化事業
実施期間(2025.12-2028.09)

株式会社ヤマナカ(石巻市)、うみの株式会社(徳島県海部郡)共同企業体

<ベトナム>三倍体稚貝による付加価値の高いカキ養殖の普及・実証・ビジネス化事業

株式会社石塚養蜂園(伊具郡丸森町)

<ザンビア>安定した高品質蜂蜜のサプライチェーンに係るニーズ確認調査
実施期間(2025.08-2026.08)

株式会社東部環境(東松島市)

<モンゴル>廃タイヤ不法投棄問題の解決と持続可能な資源循環に向けたニーズ確認調査

株式会社C&A(仙台市)

<インド>シンチレータからPET装置までの一貫製造にかかわるビジネス化実証事業
実施期間(2026.04-2028.09)

(過去実績のうち直近1件のみ掲載)

ニイヌマ株式会社(石巻市)

<ベトナム>太陽光発電・蓄電機材及びクラウド型IoT監視システムの普及・実証・ビジネス化事業
実施期間(2023.02-2025.08)

実施中含む累積採択案件数： 28件 (2014年以降)

◆草の根技術協力事業

◆草の根技術協力事業(2025年度実績)

宮城県/さくら事業協同組合(仙台市泉区)

<ベトナム>人材還流システムを内包する日本式介護人材育成事業 (2023年度採択)
実施期間(2026.03-2028.04)

国立大学法人東北大学(仙台市青葉区)

<マレーシア>未来の災害に強く環境にやさしい社会を担う次世代リーダー育成プロジェクト (2024年度採択)

宮城県仙台市/八木山動物公園(仙台市)

<マダガスカル>生物多様性保全のためのサステナブルツーリズムを通じた生活改善プロジェクト(2024年度採択)

国立大学法人東北大学大学院農学研究科(仙台市青葉区)

<カンボジア>カンボジア産アロマオイルの品質向上プロジェクト～一村一品の確立を目指して～(2024年度採択)

国立大学法人東北大学災害科学国際研究所(仙台市青葉区)

<インド>ムンバイにおける持続可能な都市開発にむけた防災実践強化(2025年度採択)

実施中含む累積採択案件数： 37件 (2002年以降)

◆JICA基金活用事業(実施中)

カントリーパーク新浜(仙台市宮城野区)

<マダガスカル>エコツーリズムの地域間連携を通じた、マダガスカル東部タンプル湖周辺
農漁村の持続可能なまちづくり促進 (2025年度採択)
実施期間(2026.02-2027.02)

実施中含む累積採択案件数： 3件 (2022年以降)

◆国際協力機構債券(JICA債)

投資表明

株式会社七十七銀行、仙南信用金庫、宮城県、栗原市、東松島市、南三陸町



詳しくはコチラ